

令和6年度(2024年度)  
学校推薦型選抜(商業科等)出題の意図

問題1 出題の意図

国際商経学部 経済学・経営学コースにおいては、兵庫県出身、他府県出身にかかわらず、地域の振興に興味のある学生が毎年一定数在学している。観光と地域振興は学生にとって身近なテーマであると考えられることから、今回の出題にあたり、ポストコロナ時代の地域振興という視点から、観光地が稼ぐ力を強化し、それを地域経済の発展への好循環に結び付けていくということが重要であるとの趣旨の文章を、『観光白書』から取り上げた。

各問題は、それぞれ以下の能力を測ることを目的に設定した。

問1・問2では、文章を読み、前後の関係などから用語の意味や主旨を読み取っていく能力(基本的な日本語読解能力)を測る。

問3では、文章の要旨を理解し、それに基づいて、これまでの自分の経験と照らし合わせ、自分のアイデアを具体的にわかりやすく提案する能力を測る。

## 問題2 出題の意図

家庭におけるジェンダーの役割と「ブルー」と「ピンク」をそれぞれ男性らしさ、女性らしさと結びつけるカラーコードの関係が強化されてきた背景を、第二次世界大戦後の産業政策や、企業の販売戦略との関連から説明する記事に基づく出題である。英文を読み解き大意を把握する力、自らの考えを論理的かつ明確に論述する力を、それぞれ把握することを意図している。脚注、語彙の置き換え、文章の省略など、大学受験レベルの語彙力に合わせた若干の調整を行っている。